

	<p>令和 2 年第 1 2 回奥出雲町教育委員会定例会会議録</p> <p>日 時 令和 2 年 1 2 月 1 6 日（水）</p> <p>開 会 1 5 時 5 5 分</p> <p>閉 会 1 7 時 0 5 分</p> <p>場 所 仁多庁舎 2 階 2 0 1 会議室</p> <p>出席委員 福田充雄教育委員 荒金勇吉教育委員 谷尻圭子教育委員 高橋美奈教育委員</p> <p>委員会事務局 永瀬教育魅力課長 吉川結婚子育て応援課長 岸本教育魅力課課長補佐 長谷川教育魅力課長補佐</p>
事務局	松田教育長が遅れる旨を説明。福田委員を代理にして進行。
福田委員	<p>※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言</p> <p>※会議録署名委員 荒金委員</p> <p>次の報告事項について、説明をお願いする。</p>
事務局	<p>報告第 12 号 奥出雲町地域学習拠点施設の設置及び管理に関する条例制定について</p> <p>※資料により説明</p>
福田委員	<p>質問があればお願いします。</p> <p>指定管理にするのか、直営にするのか。今の見通しはどちらか。</p>
事務局	施設は高校と連携した形で活用していくため、それを踏まえて話をしているが、業務委託という形で施設管理自体は町がしていくことになると思っている。中身の業務については個別に担当になると思っている。
高橋委員	寮生は今何人いるのか。また、この学習拠点施設の定員は何人か。
事務局	この施設は 1 部屋最大 4 人入居出来る部屋が 8 室あり、定員は最大 32 名。現在の寮生の人数は、セミナーハウスに 2 年生の女子が 12 名、紫雲寮は 3 年生を含めて 20 数名だったと記憶している。
荒金委員	紫雲寮はそのまま継続するのか。

事務局 福田委員	<p>基本的には紫雲寮を男性が使用し、学習拠点施設を女性が使用する。</p> <p>他に質問、意見はないか。</p> <p>(質疑無し)</p>
松田教育長	<p>個々の学校に課題はあるが、学校全体としては安定している。コロナ禍においても教育に対する支援を貰っており、木次乳業を中心に食育に関する本の購入費に充てて欲しいと山陰合同銀行と合わせて 10 万円分の図書カードの寄付があった。各小学校へ 8,000 円ずつ、各中学校へ 10,000 円ずつ配布する予定にしている。建設業組合からスタンド型非接触体温計 2 台の寄贈があった。これは貸出品として教育委員会で保管し、イベントや公民館、小学校へ貸し出す形式を取り活用している。プラスチックのパネルなど様々な寄贈の申し出を受けており、順次対応していく予定。</p> <p>本日の議題</p> <p>これより議事に入る。</p> <p>議案第 13 号 奥出雲町立小・中学校等の教職員の服務規則の一部を改正する規則について</p> <p>事務局から報告を求める。</p>
事務局	<p>※別紙資料により説明</p> <p>この改正に至る経緯として地方公務員法では正規雇用職員が欠けた場合に臨時雇用職員を任用できるという規定があったが、拡大解釈をされた結果、恒常的に臨時雇用職員が任用されていた。そのため、令和 2 年度より臨時雇用職員を会計年度任用職員に改め一年間の任用期間を定めて任用するように改正された。町も改正に伴い臨時、嘱託と呼んでいた職員を月 17 日勤務の会計年度任用職員に改めた。県としては常勤の講師は臨時的任用のままと判断しているが、非常勤職員は特別職の非常勤職員から会計年度任用職員として一般職という扱いになった。その職員は地方公務員法とは別の新たな規定が定められ、各市町村は職務規定を改正しなければいけなくなった。県から提示された規則令と町の服務規則を照合した結果、職務規定以外にも過去に修正されていなければいけない部分が修正されていないことが判明したため、合わせて改正を行っている。</p>
教育長	<p>審議を行う。</p> <p>質問、意見があればお願いしたい。</p>
福田委員	<p>常勤講師の給与の上限は上がるのか。</p>
事務局	<p>昨年度までは県の給与表で金額が決まっていたが、それは撤廃する。具体的な金額はないが、再任用と非常勤講師は制度が違っているためバランスを取りながら給与</p>

	が決められていく。
福田委員	退職手当は出ないのか。
事務局	継続した場合は出ないが、任用が終了した場合、その時点で退職手当が出る。
谷尻委員	非常勤講師の待遇は良くなったのか。
事務局	待遇的には良くなった部分も多いが、昨年まで授業実施系と指導補助系はほぼ同じ単価だったが、指導補助系は授業をしないため差をつけて金額が下がっている。
教育長	<p>時間単位での支払いか、もっと長い期間での試算になる。時間単価が高くなると長い期間での補助員が居なくなる。本案を可決することに異議は。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>本案は提案のとおり可決された。</p>
松田教育長	報告第 13 号 奥出雲町議会 12 月定例会の一般質問について。
事務局	※別紙資料により説明 景山議員の質問への返答。
吉川課長	<p>①少子化による人口減少対策として鹿児島県の例を取り上げ、町営住宅の建設を提案。</p> <p>住居を担当している町民課より回答。平成 30 年度に三成の滝の上に子育て世代向け住宅用地の分譲を行い、昨年度末までに 2 個の分譲が完了した。今後は事業の継承を踏まえながら町所有の遊休地利用促進の観点を含めて引き続き検討していく。</p> <p>②奥出雲町で現在一律 10 万円を支給している出産祝い金を出産人数に応じて段階的に増やして支給する提案。</p> <p>平成 23 年度から町内で使用できる期限付きの商品券 10 万円分の支給を開始し、本年 11 月末までに 652 件、総額 6,520 万円支給している。祝い金を人数に応じて段階的に引き上げる案だが、現在、次期総合計画、総合戦略の策定を進めており、他の子育て支援策も含めて検討していくと回答した。</p>
松田教育長	<p>大垣議員の質問への返答</p> <p>①これからの教育行政のあり方、方針について新教育長の所信の伺い。</p> <p>奥出雲町が目指す子ども像について、ふるさと教育、キャリア教育、学力育成の 3 本の柱について具体的な取り組みを進めていくと伝えた。昨年度までの県の方針に</p>

事務局	<p>あった「定まった答えのない課題にも粘り強く取り組んでいく力」など、主体的・対外的に深い学びを行っていくには子ども達同士の学び合いが不可欠である。そのためには、再編方針に出している 20 名程度の学級の中で子ども達同士が学んでいく必要があるという方針に基づいて保護者、地域の方の理解を貰いながら学校再編を進めていくと回答した。来年度には、教育に特化したタウンミーティングも考えている。</p> <p>②小学校再編問題、その後、どのように考えているのか。</p> <p>小学校の再編については今年 11 月より各校で校区別協議会の立ち上げのための準備会を行っていると説明をした。町としては、多様な考えに触れながら子どもが子ども達の中で育つ環境のために 20 人程度の学級が最善という方針の基、仁多地域、横田地域、各 1 校ずつの再編を基本として協議会を進めていきたいと考えている。準備会で上がった通学方法や放課後児童クラブなど保護者からの疑問へ教育委員として具体的な案を提示しながら進めていく。校区別協議の再編は令和 4 年 3 月を目途に判断してもらい、その後 2, 3 年をかけて調整を行い令和 7 年 4 月の再編を目指して取り組んでいくと答弁した。</p> <p>③耐震に問題がある学校についての対応と方向性。</p> <p>三成小学校は、再編の中で仁多地域の統合小学校という位置づけなので新校舎建設をもって未耐震の改修を図っていく。布勢小学校については、現在再編を提案している事、耐震工事は相当規模の費用が掛かるため現校舎の改修・新校舎の開設は困難であると回答した。ただし、児童の安全確保の観点から代替案を検討しており、出来るだけ早期に提供したいと考えている。</p> <p>④仁多中学校周辺が土砂災害時特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されたが、中学校施設のあり方の考えは。</p> <p>区域指定は災害リスクがあることを公表することで住民へ危険性の認識を促して警戒態勢の整備などソフト面での対策の推進を促すことで住民の生命を被害から守ることが目的であり、早期避難の実施や避難経路の確保などのソフト面での対策で安全確保を図っていく。校舎自体は鉄筋コンクリートであり、現時点ではすぐに対策工事を行う必要はないという認識。</p> <p>⑤かつて町長は、小中一貫の義務教育学校への移行も視野との施政方針も示されたが、このことについてどのように考えているのか。</p> <p>三成小学校の施設整備に関して校舎を仁多中学校の敷地内に移転する場合、少子化問題もあり将来的には小中一貫教育を可能性として検討すべきではないかと回答していたと認識している。仁多中学校、横田中学校の現在の状況を考えると一貫教育の可能性は厳しく、一貫教育については小中の連携教育で強固にしていきたいと説明している。</p> <p>糸原議員の質問への返答</p> <p>①奥出雲町として一学級 30 人として 3 クラスとした島根県は、どのような方針で考えているのか伺います。</p>
-----	--

	<p>定数の削減となったが、色々な取り組みの中で3クラスを維持できたと町としては考えていると回答した。</p> <p>②横田高校所在の奥出雲町として特に、この決定の意義、効果、影響、今後の方向性についてはどのように思っているか。</p> <p>2クラスを回避できたことは安堵しているが、厳しい状況であると認識している。今後もそれぞれの保護者、地域の方、高校を踏まえながら魅力課事業の支援をしながら進めていきたいと説明をしている。</p> <p>③少子化による生徒数減少への具体的な政策、デザイン学校やリハビリ学園との関わりについて町としての考え方。</p> <p>町としては、横田高校の教育観点は県と変わらず持っているが、すぐに入学が増えることは難しいと思っている。町民一人一人が学校の教育活動に関わっていくことで魅力ある高校にしたい。デザイン学校などの学校についてもこれまで同様、様々な支援をしていきたいと説明した。</p>
松田教育長	<p>質問があればお願いします。</p> <p>(特になし)</p> <p>報告第14号 令和2年度補正予算(12月補正)について</p>
事務局	<p>※資料により説明</p> <p>民生費、新型コロナウイルス感染症の緊急包括支援事業について国から直接ではなく、県を経由しての間接補助金であったため財源の振替を行った。保育所費、幼稚園施設修繕費、阿井幼稚園の機械室の扉が腐食して外れたため、取り換え修繕のために56万9,000円計上している。</p>
松田教育長	<p>質問等はあるか。</p> <p>(特になし)</p> <p>その他連絡事項</p>
事務局	<p>特別準備会の状況について</p> <p>11月11日から12月9日まで10校区で準備会を行った。教育委員会からはPTA会長、幼稚園の保護者代表、自治会・町会の会長の3名に参加を要請したが、阿井、高尾は昨年度立ち上がった協議会から参加をしたため人数が多い。教育委員会からは協議会が立ち上がっていない校区へは年内での立ち上げ、メンバーの構成を半分以上が保護者になるように付け加えてお願いをしている。議会が立ち上がっている校区には、全ての校区が協議会を立ち上げてから協議を始める旨を伝え待ってもらうようお願いをしている。大きな反対はなかったと認識している。1月中には協議会の初回を行い、そこで出来るだけ具体的な提案をさせてもらう予定。</p> <p>こちらからの提案について大きな反対はなかったが、不信感を抱いているという旨の発言が2点あった。鳥上では、令和2年度の新入生が0人だったため、教育委員</p>

	<p>会が学校再編を進めるために意図的にそうしたのではないかと不信感を抱いている住民がいるという発言があった。PTA 会長と相談を行い、来週、住民向けの説明会を行う予定。PTA 会長から発端は幼稚園が無くなったことではないかと意見があったため、住民の話を聞き、こちらの思いを伝える会になると思っている。</p> <p>布勢では、町長が選挙の際に校舎を建てると言っていたが、約束が守られていない。町議会へ陳情書を持って行った際に旧高田小学校に通うように言われたため不信感を抱いていると発言があった。そのため、協議会の立ち上げは難しいのではないかと言われたが、最終的には前向きに進めていきますと返答を貰った。上記 2 点は町長、副町長に報告し、何か検討が必要であろうと伝えている。具体的な案は決まっていない。</p>
松田教育長	<p>布勢、鳥上は今までのいきさつを考えてからという雰囲気はあったが、人数がある程度絞られているので準備会で大きな反対はなかった。中学校の再編について質問があったが、中学校の一学年 20 名が目安になると思っている。部活に関しても質問があったが、中体連の規則で学校単位でなければ参加できないため、部活については先送りになる見込み。中学校については、今年からリモート化が進んでおり、このくらいやりますと具体的な事を申し上げにくいと話をしている。</p> <p>ご質問があればお願いします。</p>
福田委員	<p>鳥上、布勢でも協議会を立ち上げてもらい議論の中でどうするか話をしてもらえばいい。PTA 会長は幼稚園が無くなったことが原因だと言っていたが、私は鳥上小学校の校区の子どもが横田小学校に通学することが地域の方に理解されていないことが原因だと思っている。横田小学校へ子どもを通学させる保護者と地域の方との相互理解が足りていないことが問題であり、そこを説明して欲しい。布勢に関しては、藤原議長が「新しい校舎の建設、耐震工事が難しいならば統合されて新校舎が出来るまで近くの高田小学校に通えばいいのではないか」と言ったことを誤解された結果。誤解は誤解として受け止めて議長としてきちんと話をしないといけない。</p>
谷尻委員	<p>鳥上小学校校区の保護者からは、たくさんの子どもの中で学ばせたいから横田小学校に通わせたいと意見を貰った。福祉会としては保護者の思いを汲み取る必要があるため断れなかった。保護者同士の話になると横田に子どもを通わせる保護者が辛い立場になる可能性があるので上手に話し合いが出来るようにしてほしい。</p>
松田教育長	<p>特に鳥上に関しては、子どもを横田小学校に通わせる保護者と教育委員会の意図が地域に十分に伝わらなかった結果、不信感に繋がった。私は子どもが指定校区以外の学校に通うことに慣れていたが、鳥上では校区外に子どもが通うことに慣れていないため、余計に不信感に繋がったと思う。校区外の学校に通う子どもが一定数いることを説明していきたい。</p>

	<p>情報提供</p> <p>毎年行っている魅力課に関するアンケート結果について。</p> <p>※資料を用いて説明をした</p> <p>11月20日過ぎに小学校6年生、中学校3年生、高校3年生に行った。同学年の令和元年度と令和2年度を比較した結果、小学生の判断力、コミュニケーション、学力育成の数値が低下している。県との話でも触れたが、コロナで授業が出来なかったことが数値の低下に繋がっているのではないかと個人的に思っている。中学校・高校においては数値に大きな変化はないが、それは講義型の授業が多いためだと考えている。仁多中校区と横田中校区でアンケートにかなり差が出ている項目があり、それは各中学校区の小学校時点から引き続いたものだと思う。来年1月の校長会ではこれらの資料を提供し、各学校、中学校区の中で来年度に向けて対策をお願いしたいと思っている。</p>
谷尻委員	コロナ禍での授業の進め方で不登校の子どもの人数はどうなっているか。
松田教育長	前より多くなったが、コロナの影響より家庭的な問題だと考えている。
谷尻委員	小学校と比較して中学校の方が多いか。
松田教育長	<p>中学校の方が若干多く、問題行動も出てきている。増えているというよりは今まで沈埋していたことが顕著になった感じはある。親との関係など他機関と連携しないと解決できない問題がある。他に質問はないか。</p> <p>(特になし)</p> <p>&lt; 次回定例会は1月20日(水)午後 時～(予定) &gt;</p>
教育委員	<p style="text-align: center;">会 議 録 署 名</p> <p style="text-align: center;">荒金勇吉</p> <p style="text-align: center;">松田武彦</p>
教育長	

